

資 料

2008 年 9 月

リーマン・ブラザーズ証券の概要と今回の措置

1. リーマン・ブラザーズ・グループの概要

本拠地	米国（ニューヨーク）
時価総額	25 億ドル（08 年 9 月 12 日時点）
総資産	6,000 億ドル（08 年 8 月末時点）
株主資本	284 億ドル（08 年 8 月末時点）
格付	Moody's : A2 / S&P : A（08 年 9 月 12 日時点）
主なビジネスライン	① キャピタル・マーケット業務（債券、株式関連業務） ② 投資銀行業務 ③ インベストメント・マネジメント業務（アセット・マネジメント業務等）

(百万ドル)

	06 年	07 年	08/1Q	08/2Q	08/3Q
総資産	503,545	691,063	786,035	639,432	600,000
営業純収益	17,583	19,257	3,507	▲668	▲2,903
純利益	4,007	4,192	489	▲2,774	▲3,927

- 今年に入って合計 139 億ドルの増資を実施。
- 9 月 10 日、08/3Q 決算については、純利益が▲39 億ドルの赤字（2 期連続の赤字）となるとの見通しを発表。
- 9 月 15 日、米国で連邦破産法 11 条の適用を申請。

2. 今回の米国連邦準備制度の措置の概要

- ①プライマリー・ディーラー向けの貸出制度に用いる担保を拡大。
- ②ターム物債券貸出制度において受け入れる担保を拡大。
- ③ターム物債券貸出制度の実施額を 1750 億ドルから 2000 億ドルに引き上げ等。
- ④銀行から関係会社への与信の上限規制を 2009 年 1 月末まで免除。

日本銀行の対応

(1) 声明

2008年9月16日
日 本 銀 行

総裁談話

日本銀行としては、最近の米国金融機関を巡る情勢とその影響を注視しつつ、引き続き、適切な金融市場調節の実施などを通じて、円滑な資金決済と金融市場の安定確保に努めていく方針である。

以 上

—— イングランド銀行、欧州中央銀行、カナダ中央銀行、スイス国民銀行も同趣旨の声明を発表。

(2) 金融市場への資金等の供給

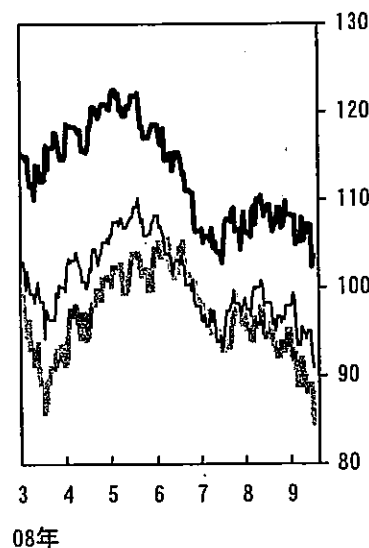
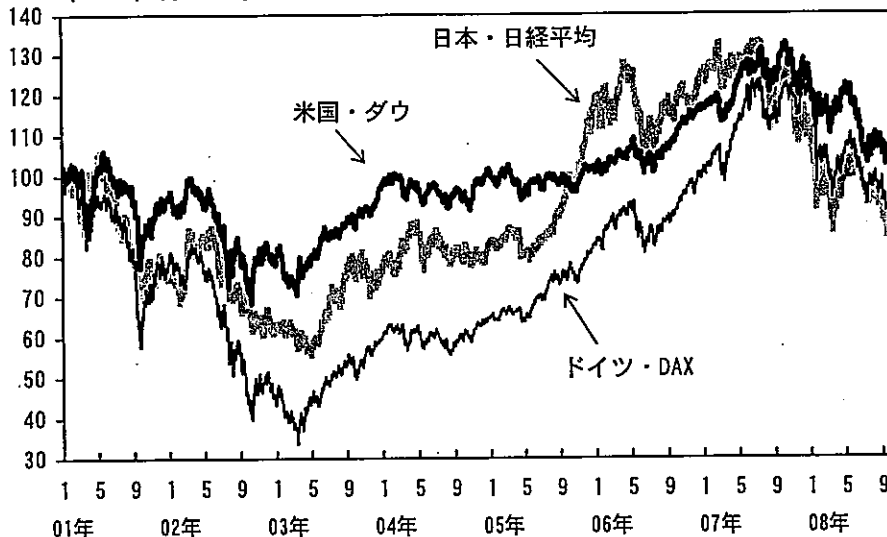
○ 当日スタートの資金供給オペレーションを2.5兆円実施(9月16日)。

—— 国債補完供給の条件緩和も実施(9月16日～19日)。16日に13億円分の落札あり。

金融市況

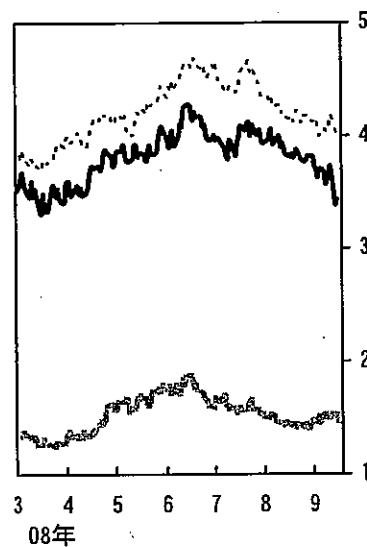
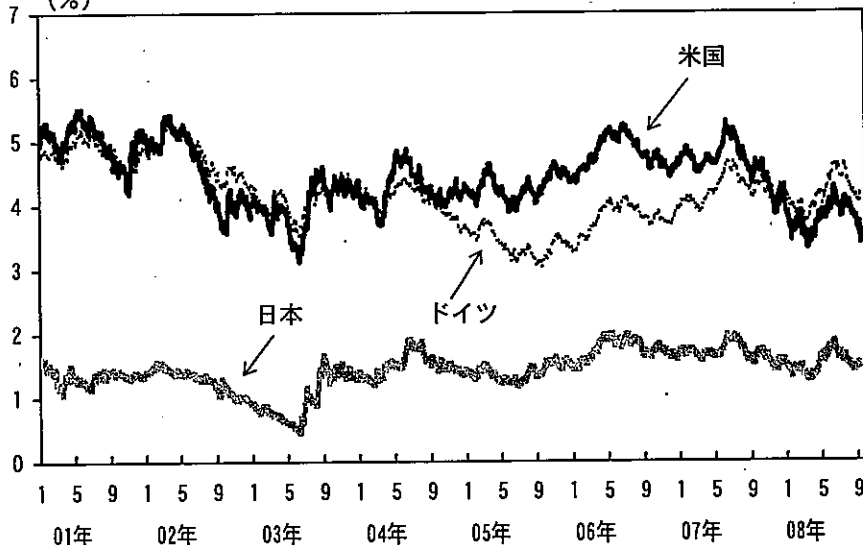
(1) 株価

(2001年1月=100)



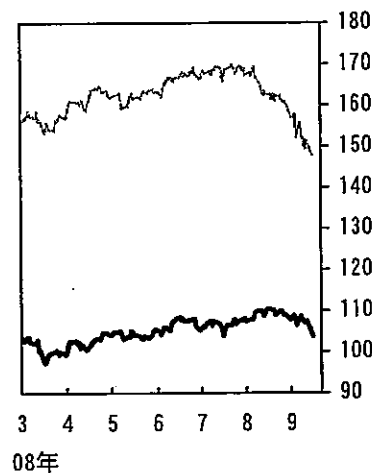
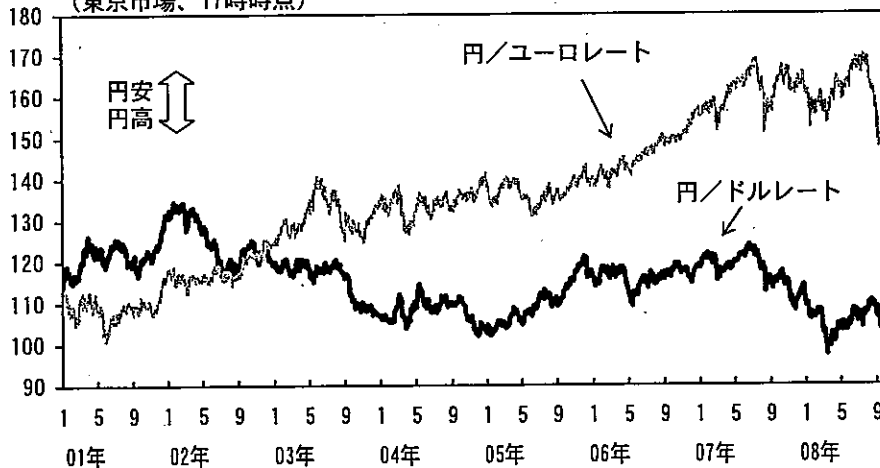
(2) 長期金利 (10年物)

(%)



(3) 為替レート

(東京市場、17時時点)



サブプライム・ローン問題の経緯

